

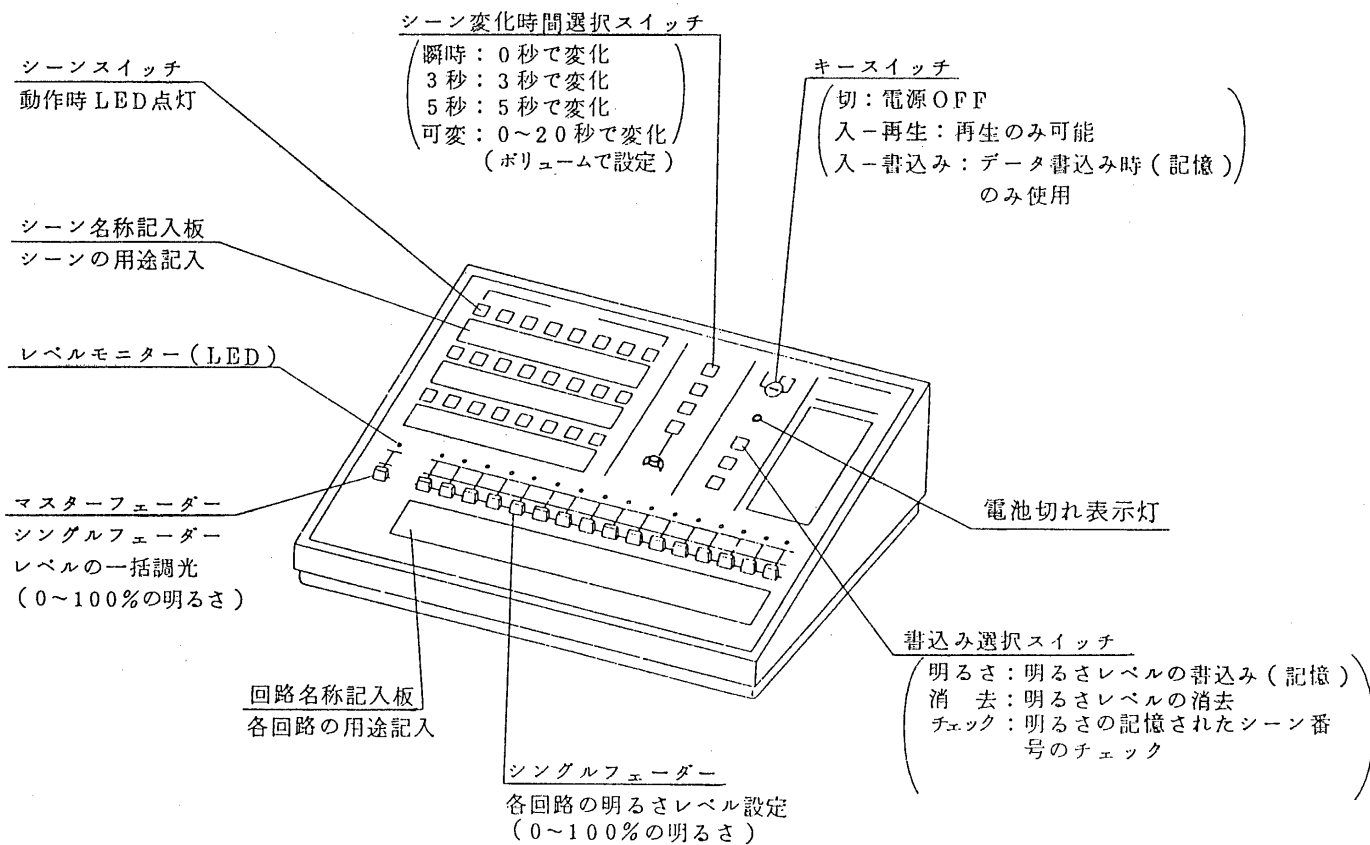
# TOSHIBA

## 東芝メモリー操作卓 (△-ディ△メモリ-) 取扱説明書

### TRDM-16MN

このたびは東芝メモリー操作卓 (△-ディ△メモリ-) をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの製品を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

#### 各部のなまえ

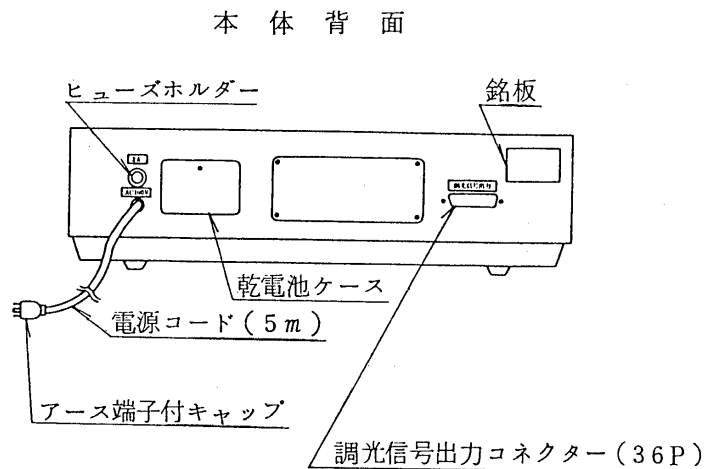


#### 工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

## ご使用のまえに

- 付属の乾電池（単三形×2本）を本体背面の乾電池ケースへ入れてください。  
⊕⊖をまちがえないよう御注意ください。  
（ケース上部のねじを手でゆるめるとフタがはずれます。）
- 付属の接続ケーブルを調光信号出力コネクタへ差し込み、留め金でしっかり固定してください。
- 電源コード、接続ケーブルをコネクタボックス（別売）のそれぞれの端子へしっかり取り付けてください。
- この装置はAC100V用です。電源を入れる前に必ず電圧の確認をしてください。



## 特にご注意を

- 電源プラグはアース端子付の3Pプラグとなっています。アース端子は必ずアース（第3種接地工事）をとってください。アースされていない場合は外来ノイズ等で誤動作する場合があります。
- 乾電池を交換する場合は必ず電源を入れ、キースイッチを「入」にして行ってください。「切」の状態では記憶された内容が消えてしまいます。
- 乾電池の寿命が近づいていたり、乾電池が入っていないとき「電池切れ」表示灯が点灯しますので、新しい乾電池と交換してください。放置しておきますと記憶が消えたり、漏液で機器をいためるおそれがありますので早めに交換してください。
- この装置は雑音防止設計になっていますが、ラジオやマイクロホンなどの音響機器に雑音障害をおよぼす場合があります。その場合はつぎのような対策をしてください。
  - この装置と音響機器およびアンテナ、アース線はできるだけ（1m以上）はなしてください。
  - 不平衡形マイクロホンの場合、ノイズの影響を受けやすいので平衡形マイクロホンをご使用ください。
  - 音響装置のアースは必ず取り付けてください。
- この装置は屋内専用で0℃～40℃の温度範囲で使用するように設計されています。つぎの場所には取り付けないでください。性能が低下するばかりか故障のもとになります。
  - 暖房機器の真上やその付近
  - 湿度の高いところ
  - 有毒ガスやほこりが特に多いところ
  - 水や薬品がかかる恐れのあるところ
- 電源の「入」・「切」は必ずキースイッチで行ってください。

## 装置の使いかた

■この装置は、照明演出設備の頭脳として、明かりの設定状態（調光レベル）を正確に記憶し、同じ明かりを再現することができ、簡単な操作で効果的な演出ができます。

この装置を使って明かりを調光する方法は、①フェーダーによる直接調光、②シーン（場面）記憶とその手動再生 の2方式があり、場合に応じ使い分けができます。

### ① フェーダーによる直接調光

各回路の明るさをシングルフェーダーで調整し、全体の明るさをマスターフェーダーで一括調光します。フェーダーのつまみの位置が実際の明るさと直結しておりそのまま場面に応じて調光できます。

### ② シーン記憶と手動再生

①の直接調光で設定された明るさを、本装置へ電氣的に記憶させ、必要に応じ再現できます。各回路ごと別々に設定された明るさが組合わされて1つの演出状態となりますが、これを「シーン」（場面）と呼びます。

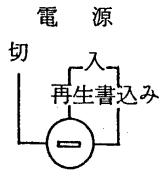
本装置は、24のシーンを記憶し、任意を選んで再現することができます。このシーン記憶により微妙な明るさ調整は一度行なっておけば、その後は簡単な再生操作で再現することができます。再現するには、シーン番号の選択スイッチを押すだけで可能ですが、これを「手動再生」と呼びます。

また、再生時、今まで点灯していた明かりから、新たに選ばれたシーンの明かりへと自然な変化を行うために、点灯中の明かりを徐々に消していき、新しい明かりを徐々につけていくように動作します。



## 各スイッチとフェーダーの使いかた

### ① キースイッチ



「切」：電源 OFF

「入-再生」：手動操作および自動操作で再生（調光）を行う場合。

プログラムの消去・書込みはできません。（記憶ロック）

「入-書込み」：プログラムデータ（明るさ）の書込み（記憶）を行なう場合とプログラムデータの消去・書替えを行う場合。

※ 各位置でキーの抜き取りができます。

※ 電源を「入」にしても、フェーダーが上がっていないか、記憶済のシーンスイッチを押さない限り明かりは出力されません。

### ② シーン選択スイッチ



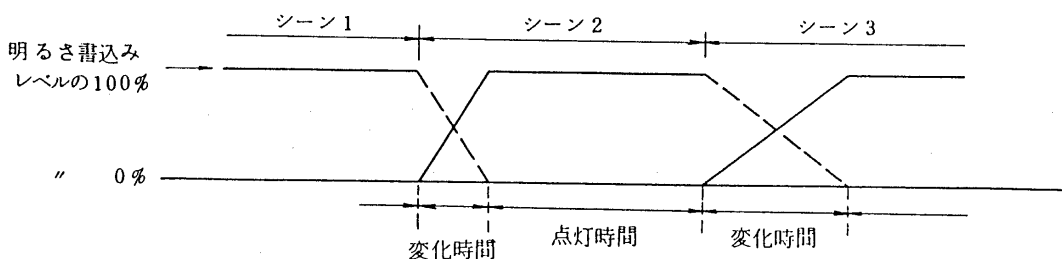
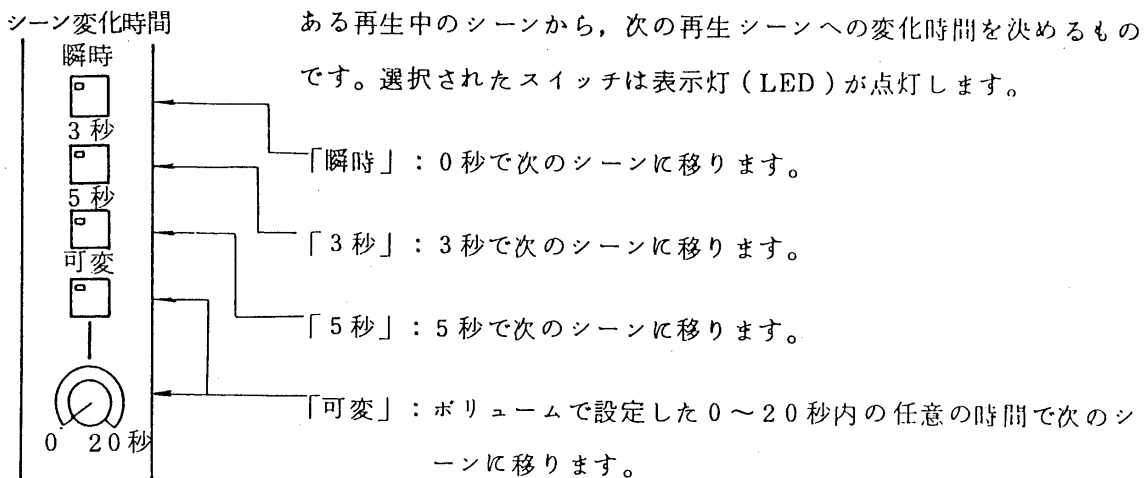
手動再生時および明るさの書込み時に対象とするシーン番号の選択を行なうための押釦スイッチです。各スイッチは、選択時に点灯する表示灯（LED）を内蔵しています。

- キースイッチ「再生」時……シーン選択スイッチを押すと、そのスイッチの表示灯が点灯すると共に、負荷が選択されたシーン番号の記憶状態で調光されます。（ただし、明るさ書込みしていないシーンは、スイッチを押しても動作せず、負荷の明るさもそのまま変化しません。）

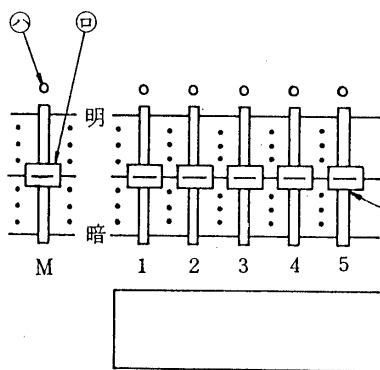
負荷の明かりが今までのシーンの調光状態から新たに選択されたシーンの調光状態へと変化する時間は、シーン変化時間選択スイッチ（③項参照）にて設定できます。

- キースイッチ「書込み」時……必要なシーン番号を選択して押すことによりそのシーン番号へ明るさ、時間の書込みおよび消去ができます。

### ③ シーン変化時間選択スイッチ



### ④ 明るさ設定ボリューム (フェーダー)



#### ① 「シングルフェーダー」

各調光回路(CH)ごとに1本あり、各回路の調光レベルを設定します。本装置では16回路分装備しています。

#### ② 「マスターフェーダー」

シングルフェーダーによって設定されている負荷の明るさを、全回路一括操作するものです。

注) 明るさ書込み時には一番上の位置にし、再生するときは必ず一番下の位置にしておいてください。

#### ③ 「レベルモニター」(赤色LED)

各回路の調光状態に応じ明るさが変化します。

シーンの再生・書込み時に、負荷の調光状態が確認できます。

注) シーン再生時に明るさの修正をする場合は、マスターフェーダーを一番上に上げ、修正したい調光回路(CH)のシングルフェーダーを記憶されているレベルまで上げて、その後必要なレベルに調整してください。(記憶レベルは変わりません。)

⑤ 明るさ書込みスイッチ（キースイッチが「書込み」で動作）

書込み

明るさ



消去



チェック



各フェーダーで設定した調光レベルを、シーン選択スイッチで選んだ番号のシーンに記憶させるためのスイッチです。

スイッチを押すと、「ピッ」という音が出て書込み完了です。

明るさの設定方法は、(④項)を参照ください。

⑥ 記憶済チェックスイッチ

書込み

明るさ



消去



チェック



明るさ書込み済のシーンを確認するためのスイッチです。

本スイッチを押している間は、明るさ書込みを行なったすべてのシーン選択スイッチの表示灯(LED)が点灯します。

⑦ 書込み内容消去スイッチ（キースイッチが「書込み」で動作）

書込み

明るさ



消去



チェック



シーン選択スイッチで消去したいシーンを選択し、本スイッチを押すと、そのシーンの明るさの記憶データを消去します。

1回押すごとに1シーンずつ消去できます。

スイッチを押し、「ピッ」という音が出て消去完了です。

## お手入れのしかた

- 表面が汚れたときはやわらかい布か、ぬるま湯を浸した布をよくしぼってからふいてください。  
ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコール等の薬品でふいたり、殺中剤をかけたりしないでください。変質や変色のもとになります。
- 乾電池は定期的（約1年毎）に新しい乾電池に交換してください。  
（単三形乾電池×2本）

## 修理サービス

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝ライテック株式会社にご相談ください。  
なお、ご相談されるときは装置の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

## 仕 様

• 入 力 電 源	AC100V±10% (50/60Hz)	• 付属品	キースイッチ (No.300) × 2個 調光信号用接続ケーブル (36芯×5m) × 1本 乾電池 (単三形) × 2個 カバー × 1枚 取扱説明書 × 1冊
• 負荷制御回路数	16回路		
• シ ー ン 数	24シーン		
• シーン変化時間	瞬時, 3秒, 5秒, 可変 (0~20秒) 切替方式		
• 制御対象負荷	ムーディム他当社調光盤に限定します。	• 予備品	ヒューズ (2A) × 1本
• 停 電 補 償	約1年間 (内蔵乾電池), 電池切れ表示灯付		
• 消 費 電 力	最大15W		
• 重 量	8 kg		

## オーディオメモリー 操作のしかた

(形名：TRDM-16MN)

### 1 明るさレベルの書込み

- 1) ①キースイッチを“書込み”にします。
- 2) 書込みのシーンの番号を選択します。(②シーンスイッチを押す。)
- 3) すでにシーンが書込まれている場合は、③消去スイッチを押します。(4. 記憶の消去 参照)
- 4) ④マスターフェーダー、⑤シングルフェーダーに必要な明るさにセットします。
- 5) ⑥明るさ書込みスイッチを押します。→ ビッと音がして書込みが完了です。

以上の手順で各シーンごとに書込みを行ってください。

### 2 手動再生

- 1) ①キースイッチを“再生”にします。
- 2) シーンの変化時間を⑦“瞬時”，⑧“3秒”，⑨“5秒”，⑩“可変”の中より選択します。(可変の場合、ボリュームにより0~20秒の設定をしてください。)
- 3) 点灯させたいシーンの番号を選んで②シーンスイッチを押します。

### 3 書込み済みシーンのチェック

- 1) ①キースイッチを“再生”又は“書込み”にします。
- 2) ⑪“チェック”スイッチを押します。
- 3) 書込み済のシーンは②シーンスイッチのLEDが点灯します。

### 4 記憶の消去

- 1) ①キースイッチを“書込み”にします。
- 2) 消去するシーンのシーンの番号を選んで②シーンスイッチを押します。
- 3) ③消去スイッチを押します。
- 4) 書込みされた明るさレベルの記憶は消去されます。→ ビッと音がして消去が完了です。

### 5 明るさレベルの修正

- 1) ①キースイッチを“書込み”にします。
- 2) 修正したいシーンのシーンの番号を選んで②シーンスイッチを押します。
- 3) マスターフェーダーを一番上に上げます。
- 4) 修正したい回路の⑤シングルフェーダーをいったん記憶されているレベルに上げて、その後必要なレベル調整してください。
- 5) ⑥明るさ書込みスイッチを押します。→ ビッと音がして書込みが完了します。
- 6) ①キースイッチを“再生”にした時にも、3)の操作を行なうことにより明るさの修正が行なえます。(ただし、記憶は変わりません。) 本番再生中の突然の場面の修正などに便利です。

